

2023年11月28日

各位

興和株式会社

**興和 インド・ムンドラ火力発電所における
アンモニア混焼技術適用に向けた燃焼試験を開始**



興和株式会社（以下、興和）は、インドで民間最大の独立系発電事業者である Adani Power Ltd.（以下、APL）および株式会社 IHI（以下、IHI）と3社共同で、APLが所有する火力発電所における脱炭素化を目指し、Mundra（ムンドラ）火力発電所（インド・グジャラート州）にアンモニア混焼技術を適用することを目指した検討を進めており、このたび、同発電所で使用されている燃焼設備を想定したアンモニア20%燃焼試験をAPLの技術者立ち会いのもと、IHIの相生工場（兵庫県相生市）で開始いたしました。

世界第3位のエネルギー消費国であるインドでは、2070年までに温室効果ガス排出量ゼロを目指すとともに、安定電源確保のため、火力発電所における水素・アンモニアの利活用も選択肢の一つとなってきています。APLにおいては、既設の火力発電所の燃料として再生可能エネルギー由来のグリーンアンモニアを導入することで、同国の温室効果ガス削減目標達成に大きく貢献することを目指しています。この方針を踏まえ、興和とIHIは、APLの既設の火力発電所ボイラを対象としたアンモニア20%燃焼の実施のための技術的検討および経済性の検証を実

施しています。本案件は NEDO の「脱炭素化・エネルギー転換に資する我が国技術の国際実証事業」※（実証前調査）の採択を受けており、技術検討における今回の燃焼試験を通じて、他社製ボイラにおけるアンモニア 20%燃焼の適用について検討・評価する予定です。

この取り組みは 2022 年 3 月 19 日にインドと日本の両国政府より発表された、エネルギー安全保障の確保、カーボンニュートラルと経済成長の実現を目的とした「日印クリーン・エネルギー・パートナーシップ（CEP）」に沿うものであり、興和はこの取り組みを通じて、アンモニア混焼技術のアジア地域への普及拡大や、日印両国のカーボンニュートラル実現に向けて具体的に貢献してまいります。

興和は長年、様々な事業領域においてアダニグループと日系企業との橋渡しを担ってまいりましたが、2022 年 12 月にはアダニグループと新たな包括業務契約を締結し、カーボンニュートラル関連事業に関して両社で協力して事業を推進することに合意しました。特にアンモニア分野への取り組みとしましては、インドで生産される再生可能エネルギーから作られるグリーンアンモニア等を取り扱う目的で合弁会社を設立し、日本やアジア市場に対する販売活動を行う覚書を取り交わしており、2028 年を目途に年間 100 万トンのグリーンアンモニアの販売を目指しています。

また、「健康と環境」をテーマに脱炭素社会に貢献する取り組みを国内外で展開しており、インドにおけるアンモニア混焼技術の共同検証はその一環となります。脱炭素分野における事業を通じて、今後のカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

※「脱炭素化・エネルギー転換に資する我が国技術の国際実証事業」（実証前調査）
NEDO 本事業紹介：https://www.nedo.go.jp/activities/AT1_00175.html

【関連プレスリリース】

- 2022 年 3 月 22 日付
[興和 インドにおける石炭火力発電に係るアンモニア混焼技術の共同検証の実施](#)
- 2022 年 12 月 26 日付
[興和 インドのアダニグループとグリーンアンモニア等の販売に向け協力することで覚書を締結](#)

以 上